

# 市民意見の概要

---

第5次八戸市総合計画後期推進計画

八戸市

平成22年8月27日

# 目次

報告1 アンケート調査の結果について	1
1. 市民アンケート	1
2. 有識者アンケート	5
報告2 市民との意見交換の実施結果について	8
1. 意見交換の実施状況	8
2. 主な意見内容	9
①大学生グループインタビュー（八戸大学）	9
②大学生グループインタビュー（八戸工業高等専門学校）	10
③大学生グループインタビュー（八戸工業大学）	11
④女性団体等グループインタビュー	12
⑤NPOグループインタビュー	14
⑥市民ワークショップ	15
【テーマ①：地域活力の創出】	15
【テーマ②：まちの魅力創造】	15
【テーマ③：地域の安心確立】	16
【テーマ④：自治基盤の整備】	16
⑦～⑩意見交換会（4回開催分）	18
1. 地域活力の創出	18
2. まちの魅力創造	19
3. 地域の安心確立	20
4. 自治基盤の整備	21
その他意見	21

## 報告1 アンケート調査の結果について

### 1. 市民アンケート

#### <調査の概要>

##### (1) 目的

- ・戦略プロジェクトに関する市民の行動・意識の把握
- ・前期推進計画期間における経年変化と現在の状況について分析

##### (2) 調査項目

###### 1) 地域活力の創出関連

- ①地域産業の高度化について
- ②農産物の地産地消の普及について
- ③水産業の活力の維持・回復について
- ④八戸市の魅力を全国に発信する取組みについて
- ⑤市民参画による観光振興について
- ⑥産学官民の連携促進について
- ⑦雇用を取り巻く状況について

###### 2) まちの魅力創造関連

- ①中心街の再生について
- ②市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進について
- ③市民の環境意識の高揚について
- ④公共交通の活性化について

###### 3) 地域の安心確立関連

- ①地域における世代間交流の推進について
- ②子育て環境について
- ③高齢者・障害者の生活環境について
- ④健康な生活や暮らしの安全を確保するための体制づくりについて

###### 4) 地域の安心確立関連>

- ①市民と行政による協働の仕組みの構築について
- ②市民福祉の向上や効率的な行政運営のための各種改革について
- ③窓口サービスの向上や、市民への情報提供の充実について
- ④定住自立圏構想について
- ⑤三圏域連携について

##### (3) 調査対象

- ・八戸市在住の満 18 歳以上の市民 1,000 人 (有効回収数 : 607 票、有効回収率 : 60.7%)。

##### (4) 調査時期

- ・平成 22 年 5 月 19 日～6 月 2 日 (2 週間)

##### (5) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収 (お礼状・督促状を 1 回配布)

<結果の概要> 表中：前回と比較して5%以上変化があった項目に編掛け

- ・八戸地域で生産された農産物に対する評価が上がっており、地場産品を購入頻度も増えている。
- ・水産物に対する評価があっており、ブランド性に対する認識も高まっている。
- ・雇用状況に対する認識は前回よりも厳しくなっている。
- ・環境保全行動の実践状況は、積極的に行動するとの回答割合が増えている。
- ・地域活動が活発であるとの回答割合が増えている。
- ・市の行財政運営の情報公開・提供が積極的になされていると感じる回答割合が増えている。
- ・市のホームページを閲覧するとの回答割合が増えている。

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
地域 活 力 の 創 出	企業誘致推進 ・ 中小企業強化 P J	地域産業の高度化のために 必要な取組 (上位 3 位)	(設問なし)	1. 人材の育成・確保 : 66% 2. 地域企業の連携 : 39% 3. 地域企業と大学等の連携 : 38%
		地域産業の高度化の取り組みにつ いての評価 (「うまく進んでいる」、 「まあまあ進んでいる」)	(設問なし)	25%
	攻めの農業 P J	八戸地域で生産された農産 物に対する評価 (上位 3 位)	1. 新鮮 : 57% 2. 安全 : 29% 3. 安い : 28%	1. 新鮮 : 68% 2. 安全 : 46% 3. 安い : 29%
		地場産品の購入頻度 (「よく 購入」と「ときどき購入」)	55%	61%
		地場産品購入後の評価 (「よ かった」)	83%	86%
	攻めの水産業 P J	水産物に対する評価 (上位 3 位)	1. 新鮮 : 68% 2. 高い : 25% 3. 安い : 23%	1. 新鮮 : 73% 2. 安全 : 41% 3. 安い : 26%
		水産物のブランド性への認 識 (「ブランド産品がある」 と「徐々に知名度上昇」)	39%	60%
	八戸ツーリズム P J	当市の全国的な知名度 (「高 まっている」と「まあまあ 高まっている」)	(設問なし)	62%
		ボランティアガイドへの参加 経験 (「経験あり」)	1%	1%
		ボランティアガイドへの参加 意向 (「参加してみたい」と「た まに参加してもよい」)	25%	27%
産学官民連携 P J	大学等の地域経済振興やま ちづくり貢献に対する認知 度 (「よく知っている」と「聞 いたことはある」)	56%	59%	
雇用創出 P J	当市の雇用状況 (「厳しい」)	77%	89%	

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
ま ち の 魅 力 創 造	中心市街地再生 P J	中心街の魅力に対する評価 (「魅力がある」と「どちらか 言えば魅力がある」)	9%	10%
		中心街へ出かけていく頻度 (「ほぼ毎日」、「週に 1～2 回」、「月に 1～2 回」)	1. 買物 : 31% 2. レジャー : 12% 3. 通院 : 11% 4. 仕事 : 9% 5. 通学 : 1%	1. 買物 : 30% 2. レジャー : 11% 3. 通院 : 12% 4. 仕事 : 8% 5. 通学 : 0%
	文化・スポーツ P J	文化活動・スポーツ活動の 取組み状況 (「ほぼ毎日」と 「週に 1～2 回程度」、「月 に 1～2 回程度」)	1. 文化活動 : 9% 2. スポーツ活動 : 18%	1. 文化活動 : 10% 2. スポーツ活動 : 20%
	環境創造 P J	環境保全行動の実践状況 (「積 極的に意識して実践」)	24%	31%
		バス路線の維持・活性化に 対する行政の関与 (「積極的 に支援」と「ある程度の支 援は止むを得ない」)	(設問なし)	84%
		バス路線の活性化に必要な 取組み (上位 3 位)	(設問なし)	1. バス系統をわかりやすく : 36% 2. バス停の快適化 : 34% 3. 運行本数増加 : 29% 3. 時刻表わかりやすく : 29% 3. 鉄道とバスの乗継改善 : 29%
地 域 の 安 心 確 立	次世代育成 P J	近所の子どもと接する機会 (「よくある」と「たまにある」)	46%	51%
		子どもたちと大人・高齢者世 代と一緒にやって行う活動 (「よ くある」と「たまにある」)	41%	38%
		当市は子育てしやすいまち と思うか (「そう思う」と「ど ちらかといえばそう思う」)	(設問なし)	41%
		子育てしやすいまちにする ために大切なこと (上位 3 位)	(設問なし)	1. 子どもの居場所づくり : 63% 2. 多様な保育の充実 : 47% 3. 経済的支援の充実 : 35%
	高齢者・障害者自立 P J	地域の福祉ボランティア活 動 (活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	11%	13%
		緊急時における障害者やひと り暮らしの高齢者の支援体制 (「地域の中で支援を受けられ るようになっている」)	10%	10%
	暮らしの安心 P J	地域の健康づくり活動の状 況 (「活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	25%	29%
		地域の安全・安心活動の状 況 (「活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	32%	32%

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
自治 基盤 の 整備	協働のまちづくり PJ	地域活動・市民活動の状況 (「活発である」と「どちら かと言えば活発である」)	1. 地域活動：32% 2. 市民活動：10%	1. 地域活動：39% 2. 市民活動：14%
	行財政改革PJ	市の行財政運営に関し、積極的 な情報公開・提供がなされてい るか(「そう思う」と「どちら かと言えばそう思う」)	23%	28%
	市民サービス向上 PJ	市役所の窓口での職員の対応や姿勢に 対する評価(「満足している」と「どち らかと言えば満足している」)	52%	56%
	市民サービス向上 PJ	市役所の窓口で充実してほ しいサービスを(上位3位)	(設問なし)	1. 土日祝日サービス：54% 2. 書類・手続きの簡素化：53% 3. 出張所等でのサービス拡大：35%
		市のホームページの閲覧頻 度(「定期的に見ている」、 「必要なときに見ている」)	11%	16%
		市のホームページに対する 評価(「非常に役に立った」 と「ある程度役に立った」)	73%	77%
	広域連携・自立の促進 PJ	定住自立圏構想に対する認 知度(「よく知っている」と 「聞いたことはある」)	(設問なし)	37%
		定住自立圏構想に期待する 分野(上位3位)	(設問なし)	1. 医療：49% 2. 福祉サービス：35% 3. 地産地消：25% 3. 人材育成：25%
		三圏域連携に対する認知度 (「よく知っている」と「聞 いたことはある」)	(設問なし)	44%
		三圏域連携に期待する分野 (上位3位)	(設問なし)	1. 医療：64% 2. 観光活性化：49% 3. 農林漁業活性化：44%

## 2. 有識者アンケート

### <調査の概要>

#### (1) 目的

- ・自治基盤整備計画、分野別計画の「目指す姿」に対する住民満足度の把握
- ・前期推進計画期間における定点分析

#### (2) 調査項目

- ・前期推進計画における自治基盤整備計画及び分野別計画の「目指す姿」に関して、現在の状況を6段階で評価する設問を設定

※6段階：①十分満たされている

②まあまあ満たされている

③どちらともいえない

④あまり満たされていない

⑤ほとんど満たされていない

⑥わからない

#### (3) 調査対象

- ・第5次八戸市総合計画の策定に携わった、八戸市総合計画審議会委員、同専門部会委員、及び戦略プロジェクト委員会委員の計138名に、市政モニター100名を加えた有識者238名  
(有効回収数：194票、有効回収率：81.5%)

#### (4) 調査時期

- ・平成22年5月19日～6月2日(2週間)

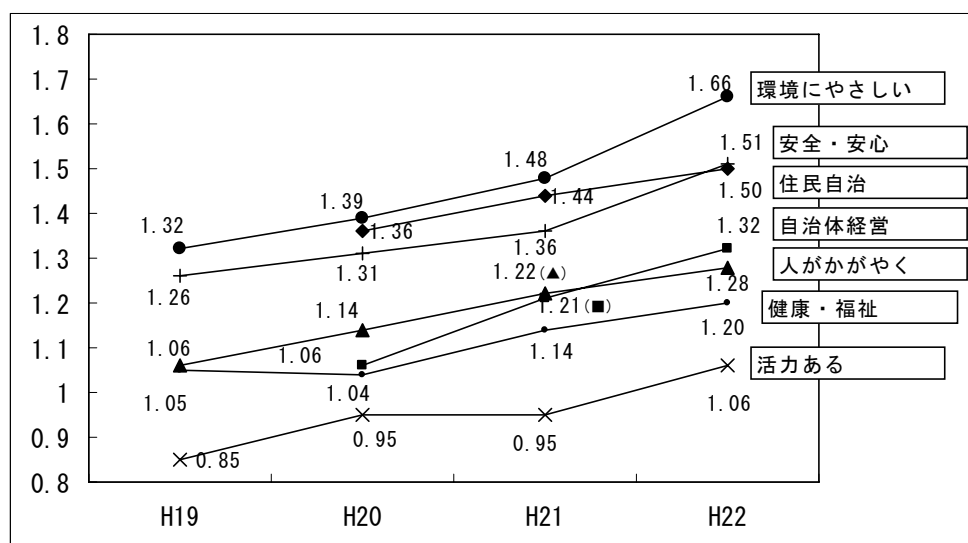
#### (5) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収(お礼状・督促状を1回配布)

### <結果の概要>

#### (1) 政策レベルの満足度得点の推移

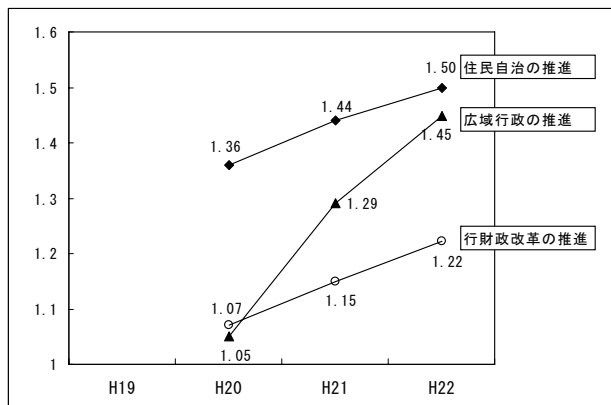
- ・「環境にやさしいまちづくり」の得点が、前回に引き続き最も高い。
- ・一方、景気の低迷を背景として「活力あるまちづくり」の得点が最も低い。



(2) 大施策レベルの満足度得点の推移

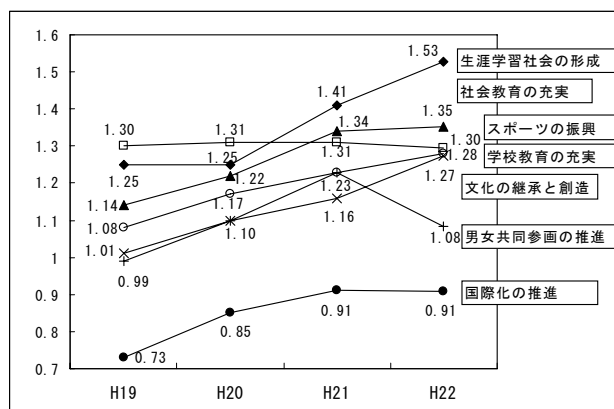
1) 住民自治の推進・自治体経営の強化

- ・「住民自治の推進」の得点が最も高い。
- ・また、「広域行政の推進」の得点の伸びが顕著であり、定住自立圏や三圏域連携の取組が評価されていると考えられる。



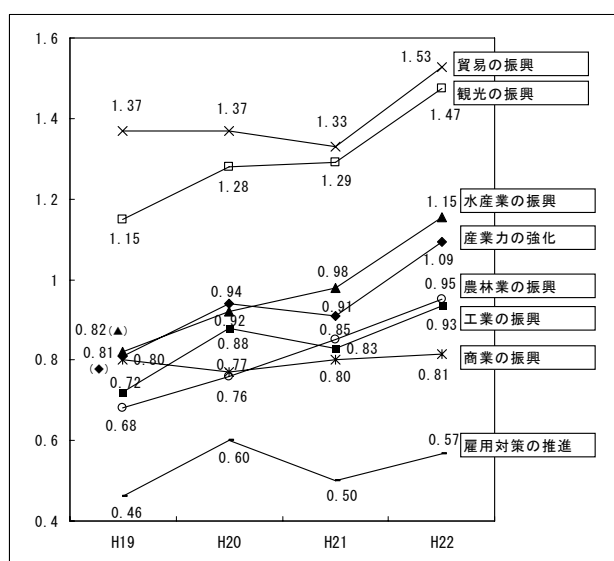
2) 人がかがやくまちづくり

- ・「生涯学習社会の形成」の得点が最も高く、伸びも顕著である。
- ・一方、「男女共同参画社会の推進」は前回と比べて下落した。



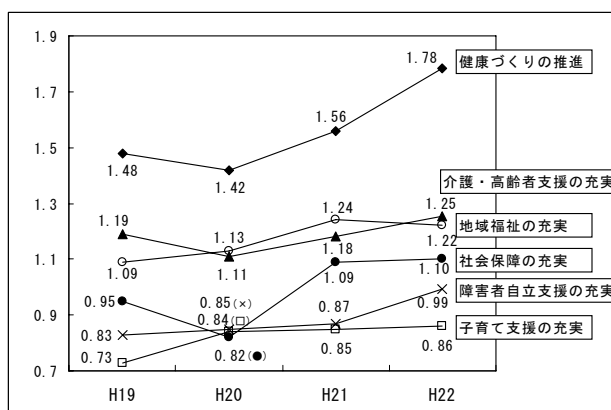
3) 活力あるまちづくり

- ・「貿易の振興」及び「観光の振興」の得点が高く、前回と比較して伸びも顕著である。
- ・一方、景気の低迷等を背景に「雇用対策の推進」の得点が最も低い。



4) 健康・福祉のまちづくり

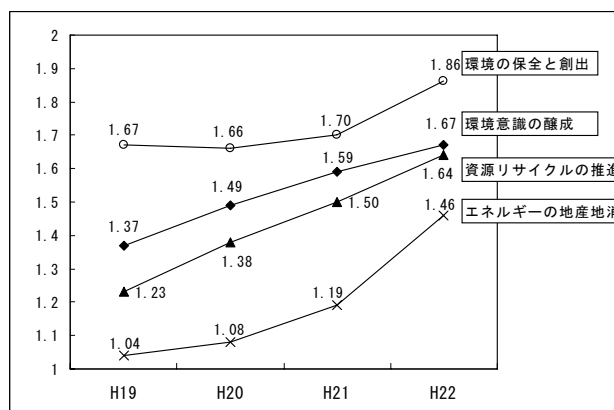
- ・「健康づくりの推進」の得点が最も高く、伸びも顕著である。
- ・一方、「子育て支援の充実」の得点が最も低い。





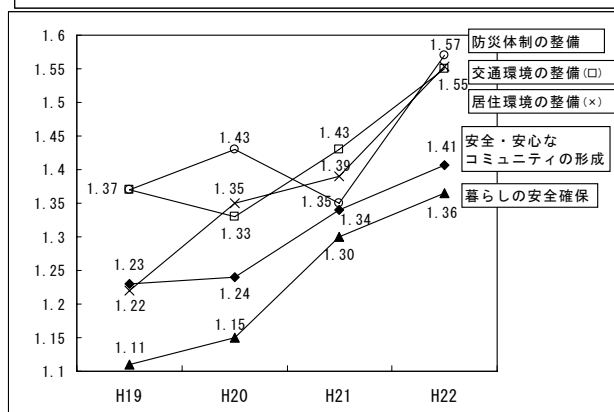
5) 環境にやさしいまちづくり

- ・「環境の保全と創出」の得点が高い。
- ・「エネルギーの地産地消」は、4 つの大施策の中で得点が低いですが、得点は前回よりも伸びている。



6) 安全・安心なまちづくり

- ・「防災体制の」の得点が最も高く、「交通環境の整備」、「居住環境の整備」もほぼ同水準にある。
- ・「暮らしの安全確保」は、5 つの大施策の中で得点が低いですが、得点は前回よりも伸びている。



【満足度得点】

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

## 報告2 市民との意見交換の実施結果について

第5次八戸市総合計画後期推進計画の策定にあたり、市民のニーズや意見を反映することを目的に、6月下旬から7月上旬にかけて9回にわたり市民との各種意見交換を開催。

### 1. 意見交換の実施状況

幅広い世代やさまざまな分野に携わる市民のニーズや意見を吸い上げるため、後期推進計画の素案に対して次の3つの方法により意見交換を実施した。

なお、意見を出しやすくし、市民が主体となった活発な意見交換とするため、策定委員会委員をはじめ、前期推進計画の進行管理に携わった総合計画推進市民委員会の委員にコーディネーターとして参画いただいた。

(※意見交換資料：後期推進計画素案概要資料)

	名 称	日時・場所	参加者数(コーディネーター)
グループインタビュー	①大学生グループインタビュー (八戸大学)	6/24 14:20～15:50 八戸大学	学生7名 (前山総一郎 教授)
	②大学生グループインタビュー (八戸工業高等専門学校)	6/30 17:00～18:30 八戸工業高等専門学校	学生7名 (河村信治 教授)
	③大学生グループインタビュー (八戸工業大学)	7/26 12:00～12:50 八戸工業大学	学生6名
	④女性団体等グループインタビュー	6/27 10:30～12:00 市庁別館8階研修室	女性10名(10団体)
	⑤NPOグループインタビュー	6/28 18:30～20:00 総合福祉会館	11名(8団体)
ワークショップ	⑥市民ワークショップ	7/4 13:30～16:30 公会堂2階大会議室	18名(17団体) 庁内ワキнг 56名 (策定委員代表4名)
意見交換会	⑦意見交換会(1回目)	7/3 14:00～15:30 公会堂文化ホール会議室	6名、策定委員4名 (市民委員会：類家伸一)
	⑧意見交換会(2回目)	7/5 18:30～20:00 総合福祉会館	8名、策定委員3名 (市民委員会：浮木 隆)
	⑨意見交換会(3回目)	7/7 18:30～20:00 南郷公民館大ホール	12名、策定委員3名 (市民委員会：浮木 隆)
	⑩意見交換会(4回目)	7/8 18:30～20:00 水産会館2階大研修室	4名、策定委員4名 (市民委員会：河村信治)
合 計 (延べ参加者数)			169名

## 2. 主な意見内容

### <①大学生グループインタビュー（八戸大学）>

#### ■中心街について

- ・中心街がさみしい。ファッションビルや遊べる場所を増やしてほしい。
- ・無料の駐車場がなく、飲みに行く以外、特に行きたいと感じる場所がない。
- ・中心街でもっとイベントがあれば良いと感じる。

#### ■仕事について

- ※地元または県内、盛岡、仙台などの東北や北海道など近県での就職希望が多い。
- ・市内や県内での就職が困難なイメージがある。

#### ■結婚について

- ※結婚の希望は、20代後半から30歳前後で結婚したいという意見が多かった。子どもについては、2～3人ほしいという意見が大半であったが、収入や金銭的な不安があるという意見もあった。また、出会いがない、仕事を通して考えが変わるといった意見も出された。

#### ■まちづくりについて

##### ○「住みやすいまち」のイメージ

- ▼店が多いだけでなく自然と共存できる▼交通マナー、治安が良い▼道路が整備されている▼気軽に遊びに行けるような施設が充実している▼市民の心に余裕がある▼行政と市民の関わりが深い

##### ○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

- ▼むつ湊をもう少しPRしてほしい▼中心街、むつ湊の活性化▼中心街を若者にも高齢者にも楽しめる場にしてほしい▼館鼻公園はきれいだが、アクセス道路が狭く不便▼道路を広くし、自動車が走りやすくする▼八戸駅周辺も店を増やしてほしい▼八戸大学行きのバスが少ない。バスや電車などの本数をもう少し多くしてもよいと思う▼市民一人ひとりが住んでいる地域に真剣に目を向けなければならない

#### ■その他

##### ○八戸の魅力

- ▼住みなれているため、生活しやすく、安心感がある▼食べ物が美味しい▼海などの自然だけでなく、商業施設など都市機能の両方を楽しめる▼夜景がきれいで、ビューポイントも多い（函館市に負けていない）▼館鼻公園がきれいに整備されて、素晴らしい▼自動車があれば、住みやすいまちだと思う。

##### ○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

- ▼海に連れて行く▼景勝地を案内する▼八食センターに連れていく▼美味しいものを食べて、自然を堪能してもらう

##### ○その他

- ▼八戸には、ずば抜けて自慢できるものがない。（インパクトのあるものが欲しい。）

## <②大学生グループインタビュー（八戸工業高等専門学校）>

### ■中心街について

▼大型の本屋やCDショップ、ファッションセンター、男性専門の服のショップ、「裏路地にカフェ、雑貨屋、服屋」、外観・照明がおしゃれな店などがあれば出かけたかった▼音楽イベントを開催してほしい▼中心街は怖いイメージがある▼中心街の店が午後8時で閉店するのは早すぎる▼最終のバスの時刻も遅くしてほしい▼中心街に人を呼ぶなら、イベントや新しい建物など、宣伝をうまく行うに限る（とりあえず、中心街を知ってもらうことが必要）

### ■仕事について

※首都圏での就職希望が多い。地元や海外での就職希望の意見もあった。また、暮らしやすいまちで働きたいという意見もあった。

### ■結婚について

※結婚の希望は、20代後半から30歳前後で結婚したいという意見が多かった。子どもについては、2～3人ほしいという意見が大半であった。また、結婚しなくてもよいという意見や国際結婚の希望もあった。

### ■まちづくりについて

#### ○「住みやすいまち」のイメージ

▼交通の便が良い▼外国の食べ物が売っている店があるなど文化的なまち▼安全で住みやすいまち。（街に休憩するベンチがあるなど）▼道路と歩道がきちんとあり、住宅地区と商業地区がそれぞれ集合している▼歩きやすい歩道があるまち▼欲しいものが1か所に集まっているまち（仙台市など）▼さまざまな人の立場になって、さまざまな面から手入れがされているまち▼行政と地域住民のコミュニケーションがうまくとれているまち▼歩きたばこの全面禁止

#### ○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

▼道路の整備、歩道の拡充▼中心街の活性化、安全確保、緑化▼公共交通の充実、海側へのアクセスを良くしてほしい▼八戸は坂が多いので、地下鉄があれば便利▼ホームページなどを利用して世論調査のような仕組みを設ける（仕組みのPRも必要）▼住民にまちづくりに興味をもってもらえるように、行政と住民を結びつけるようなイベントを開催する（例：緑化イベント、市役所の壁をペンキで塗ってアートのまちづくりに参加、まちなかスタンプラリーなど）▼行政側と住民側が親しくなれば、「ここをこうしてほしい」「ここをこうしたら良くなるのでは」といった何げない会話から問題点や解決策が出てくるのではないかと▼八戸公園（子どもの国）は広くて良い場所なので、もっと活用していくべき

### ■その他

#### ○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

▼家に泊めて、郷土料理を振る舞う▼海（白浜・種差・蕪島）に連れて行く▼朝市、むつ湊、館鼻に連れていく（人のあたたかさ、つながりが感じられる朝市がよい）▼八食センターに連れていく▼自然が豊かな所に連れていく（夜であれば、星がきれいに見える場所）▼海産物など食べ物のおいしいお店に連れていく▼カラオケに連れていく

### <③大学生グループインタビュー（八戸工業大学）>

#### ■中心街について

▼交通の便が良く、駐車場が広ければ行きたい▼服屋や和小物などが置いてあると行きたい▼飲み会のときや、祭り、イベントのときは行くが、普段はあまり行かない

#### ■仕事について

▼地元八戸を希望するが、実際は東京近辺で就職する。首都圏と地元の求人数や業種数の違いや技術力がギャップの理由（いずれは八戸に戻ってきたい）▼地元花巻市周辺を希望するが、花巻には希望する職種がないため、東北地方まで範囲を広げて検討する▼東京での就職を希望し、希望どおり内定取得▼海外での就職を希望し、希望どおり内定取得▼県内での就職を希望しているが、求人数が少なく大変

#### ■結婚について

▼理想では結婚は26歳、子どもは2~3人。実際は、結婚は28歳、子どもは2人。ギャップの理由は、その時点でどれだけ仕事に慣れているか、子育てとのバランスが取れるか。子どもが2人なのは、経済的理由。（⇒ほとんどが同様の意見）▼今のところ結婚はしたくない。まずは自由な時間がほしく、結婚は30歳を過ぎてからでよい

#### ■まちづくりについて

##### ○「住みやすいまち」のイメージ

▼地元が好きで、それを外に伝えたいという思いが重要▼電車やバスですぐに買い物に行ける、高齢者が気軽に買い物ができるまち▼交通の便が良く、高齢者や子どもの行動範囲内に店があること▼交通マナーの良いまち

##### ○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

▼外向けの施策よりも、住んでいる人のための施策を重視すべき。三社大祭も観光化より、参加する地元の人を大切にしてほしい▼中心街のほかピアドゥやラピアなど拠点がバラバラで、自動車がないと行き来できない▼公共交通機関の充実、八戸駅前の充実▼空路、航路、陸路等、八戸までのアクセスは非常に良いが、市内アクセスが悪い

#### ■その他

##### ○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

▼陸奥湊や屋台村、八食センターでおいしい物を食べる▼祭りを見せる▼種差や蕪島、葦ヶ崎などの海沿いをドライブ▼自宅で飲む▼櫛引八幡宮や根城史跡、是川などの遺跡めぐり▼小川原湖で釣り▼地元の良さがわからないため、青森市にでも遊びに行く▼下田ジャスコで買い物

##### ○その他

▼階上にマックがほしい▼新井田にジャスコがほしい▼八戸駅前に大型ショッピングモールやファーストフード店がほしい▼郊外にアウトレットモールがほしい▼中心街の点字ブロックの張る方向（本来は進行方向に点が並ぶべき）や位置（道路側ではなく店舗側に張るべき）、色（黄色にすべき）が間違っている▼地元花巻では、蕪島や八食センターはとても有名だが、公共交通機関が充実していない点が残念

## ＜④女性団体等グループインタビュー＞

項目		意見	
地域活力の創出	1-2. 攻めの農業	施策3) 農業の担い手の育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市農業交流研修センターで多少研修を受けただけでは、農業をやっていくのは難しい。</li> <li>・一方、現在の雇用情勢では、長く仕事をしたいと思っている若者を農業に引っ張ってくるよい機会である。</li> <li>・この取組を成功させるためには、もっと密にやらなければならない。</li> <li>・また、農村側は新しい人が入ってくることに抵抗があり、新規就農希望者と農村側との間を行政がつなぐ必要がある。</li> <li>・行政への要望としては、仕組みをつくるだけでなく、実際に動いて、うまくさせるところまで面倒をみてほしい。</li> </ul>
		施策4) 畜産を核とした産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口蹄疫など不測の事態が起こったときの予防策を含めたことを書くべきである。</li> </ul>
	1-3. 攻めの水産業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業も担い手不足であり、水産高校の卒業生が水産業に就職するような支援を実施してほしい。</li> </ul>
	1.4 八戸ツーリズム	施策1) 八戸の魅力売込作戦の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドミュージアムの「朝市」は既に動いているものである。計画として書くのであれば、もっと前倒し的に書いた方がよい。</li> </ul>
	1-5. 産学官民連携	施策2) 産学官が連携したまちづくりの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポーターとして学生があげられているが、八戸にある大学の学生だけではなく、八戸出身で市外の国立大学などに通っている学生も活用してほしい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸で大学というと3つしか出てこないが、敢えて大学名を挙げないことで、専門学校も含めて、すべての高等教育機関を対象にした方がよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市外の大学とも連携して、知恵やノウハウを地元の大学や市民活動団体が共有できるとよい。</li> </ul>			
1-6. 雇用創出	施策1) 雇用支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職を何とかしてほしい。子どもたちは、大学を卒業しても戻ってこない。</li> </ul>	
まちの魅力創造	2-1. 中心市街地再生プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの年代は子どもたちを当てにできない世代である。たとえば、生活に必要な最低限のことがすべてひとつのビルでできるようになるとよい。</li> </ul>
	2-2. 文化・スポーツプロジェクト	施策1) 新たな文化の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南郷名画座事業は、名画座が全面に出るのではなく、ホールの利用促進が前面に出て、事業概要の中に名画座が出てくるといったイメージではないか。</li> </ul>
地域の安心確立	3-1. 次世代育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館や児童館などに関し、柔軟な運営が可能となるよう条例を改定してほしい。</li> <li>・福祉と学校が連携してすることが必要ではないか。意見の聞き取りなどを行ってほしい。</li> </ul>

項目			意見
地域の安心確立	3-2. 高齢者・障がい者自立	施策 1) 高齢者の健康保持支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮けいがんワクチンについても考えてほしい。</li> </ul>
	3-3. 暮らしの安心	施策 2) 地域で守る暮らしの安全づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会を軸にして、見守りが必要な人が町内でどこにいるかなど地域を把握してほしい。</li> <li>・安心・安全のまちを、細かく目が届くようにし、まちなか以外の町内会も支援してほしい。</li> </ul>
自治基盤の整備	4-1. 協働のまちづくりプロジェクト	施策 1) 地域コミュニティの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会加入促進は以前から行っているので、町内会加入促進事業と八戸市連合町内会設立支援は一つにまとめてほしい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の加入は、その地域に住んでいる PTA の方など、みんなが関わる必要がある。</li> <li>・いろんな人が町内会の加入促進に関わるためには、別の事業として実施していくとよい。</li> </ul>
	4-3. 市民サービス向上プロジェクト	施策 2) 市民への情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の IT 講習会はあるが、たとえば携帯の講習会や小中学生の IT 教育なども盛り込むのがいいのではないか。</li> </ul>
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の記載の仕方：民間だけが主体のものは除いてもいいのではないか。書くのであれば、事業概要に市が関与することを明記したほうがいい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT の情報量や情報発信力を利用するためにも、全体的に IT の活用を盛り込んだほうがよいのではないか。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人をつくる」ことに重きを置いてほしい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての市民がそこに行くだけで、話をきいてもらえ、楽になれるような場や機会を確保してほしい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっちに子育て支援関連の機能が設置されると聞いているが、子育てに限らず、いろいろな相談の窓口があるとよい。</li> </ul>

## ＜⑤NPOグループインタビュー＞

項目		意見
地域活力の創出	1.4 八戸ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸は三陸海岸の玄関口であり、そのことをまず市民がもっと意識することが必要である。</li> <li>マイルポストなどランドマークを設置するなど、八戸を起点としたツアーを組めるようなPRを行ってほしい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸市には県内で3番目の国宝がある。修学旅行は国宝があるところに行く傾向があるので、戦略的に誘致してほしい。</li> <li>種差海岸を国立公園化する努力をしてほしい。</li> <li>種差階上線の道路の歩道を拡幅してほしい。</li> </ul>
	1-5. 産学官民連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学などで先生を呼んでくることがあるが、地域の力を再発見する講座を開いてほしい。</li> </ul>
まちの魅力創造	2-1. 中心市街地再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心街の再生にあたっては、従来のものを再生するのではなく、新しいものをつくっていくべきである。</li> </ul>
	2-2. 文化・スポーツ	施策 2) 歴史的文化的資源の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>無形民俗文化財後継者養成事業：岩手は遠野物語で売り出しているが、ルーツは八戸にあるらしいので、高齢者から話を聞いて保存すべきである。</li> </ul>
地域の安心確立	3-2. 高齢者・障がい者自立	施策 2) 障がい者の就労支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>八戸第二養護学校は、東日本の中で一番大きく、就職の受け皿が限界にきている。</li> <li>県の学校だが、市内の特殊学級からあがってくるので、就職に関する指導、支援をしてほしい。</li> </ul>
	3-3. 暮らしの安心	施策 2) 地域で守る暮らしの安全づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識の啓蒙を、どこかに盛り込んでほしい。</li> </ul>
自治基盤の整備	4.1 協働のまちづくり	施策 1) 地域コミュニティの振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>下長地区では、町内加入を働きかけることを通じて、安心・安全などを考えるきっかけとなっている。</li> <li>公民館は、夜間など、働いている人には使いつらくなっている。もっと柔軟に対応できる体制を整えてほしい。</li> </ul>
その他	公共施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さい児童館は込み合っている一方、小学校の教室は余裕があるという実態もある。</li> <li>空いているところ、余っているところを有効に利用するという視点で、住民が満足できるものを作ってほしい。</li> </ul>
	ドクターヘリについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドクターヘリが青森市へ移ると、救急医療を学びたい医者もいなくなることになる。</li> <li>広域との連携や市民も一定の負担をすることも含めて、独自にドクターヘリ運行の検討をしてほしい。</li> </ul>
	八戸らしさについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期計画を前倒しで策定するということの積極性を高める観点からも、後期計画の巻頭言にでも、後期計画における「八戸らしさ」を述べてほしい。</li> </ul>
	道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸が広域交通の要衝であることを考えれば、戦略プロジェクトには、建設部門、都市計画部門の記述を充実してほしい。</li> </ul>
	指定管理者制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童科学館での販売行為の禁止（科学教室を開こうとしても材料費を徴収できない）や、図書館の運営時間（夕方以降利用できない）など、柔軟な運営ができるようにしてほしい。</li> </ul>
	計画の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を立てるのはよいが、負担と実行、優先順位、効率性を考えてほしい。</li> </ul>



## ＜⑥市民ワークショップ＞

### 【テーマ①：地域活力の創出】

- **2015年 LNG 輸入基地稼働⇒地元での利用促進とポートアイランド基盤整備**
  - ・ 単なる流通基地ではなく、地元でも LNG を使ってほしい。
  - ・ 地元での消費拡大のため、付随する産業の創出や冷熱活用プロジェクトを立ち上げてほしい。
  - ・ 地元業者の建設工事への参入を促進してほしい。そうすることでメンテナンスにも関わられる。
- **農業の後継者不足、農産物価格の低迷⇒流通経路開拓、規模拡大等**
  - ・ 農協以外の独自の流通経路を開拓したり、販売・加工までやるなど検討が必要。
  - ・ 規模の拡大、経営の安定がないと後も継げない。
- **水産資源減少の中、魚を八戸に集める⇒LNG の冷熱を活用した大規模冷凍庫**
  - ・ 凍結能力が低く魚を集められないが、水揚げ最大の時期に合わせた設備投資は難しい。電力の価格設定の問題もある。
  - ・ LNG 基地の隣に冷熱を活用した大規模な農水産物用の冷凍庫の建設。リスクは大きいが挑戦する価値はあるのではないかと。
- **八戸の自然や食の PR⇒八戸駅前での PR が必要。朝市を盛り上げてほしい。**
  - ・ 景観や食、三社大祭などもっと PR してほしい。八戸駅前に PR できるものがあるとよい。
  - ・ 片町朝市について。もうしばらく長根でやれるようにしてほしい。
  - ・ 朝市目当ての観光客は宿泊するので魅力的。朝市を盛り上げてほしい。
- **厳しい雇用情勢⇒地元経済の回復を**
  - ・ 担い手不足を抱えている業種とのマッチングが必要だが、個人としてそのような業種を選ばない。賃金的魅力を向上できないか。人材が足りない業種への市の補助など考えられないか。
  - ・ 現場の仕事より机で働くことに魅力を感じる社会意識を変える必要があるのではないかと。

### 【テーマ②：まちの魅力創造】

- **はっちの知名度・理解度向上の必要性**
  - ・ 「はっち」の意味や目的の理解に、市側と市民側で大きな温度差がある。様々な事業ができる新ジャンルの公共施設であるので、体験型学習や観光のほかアートも含めた情報の集積庫かつ発信の場として機能してほしい。
- **学校連携等による市民練習場の検討**
  - ・ 市民練習場として学校開放や既存の施設も利用できるよう検討してほしい。団体が学校等から直接許可を得るのは難しいので、市に仲介等を行ってほしい。その際、空き時間等の情報管理があれば望ましい。
- **スポーツ・文化の環境整備の必要性**

- ・ 学校（特に、高校）卒業後もスポーツ・文化活動を継続できる環境整備が必要。高い競技技術を持っている選手が、市外に流出してしまうことは問題。地区ごとに養成する体制を検討する必要がある。
- **屋内スケート場の多目的型施設としての整備**
  - ・ 屋内スケート場については、国際大会も招致できるよう、また、街なかに立地する利点を活かしてコンベンション開催可能な多目的型として検討してほしい。
- **公共交通の整備の必要性**
  - ・ 公共交通については、中心街と大学のアクセスを改善するとともに、時刻表を気にしなくてよいバスダイヤを編成してほしい。また、メインストリートには自家用車を進入させない施策が必要。

【テーマ③：地域の安心確立】

- **民生委員の高齢化と守備範囲の拡大⇒システム見直しの必要性**
  - ・ 民生委員の業務内容が多すぎるため、見直すべき。
  - ・ 高齢化が進む町内会の推薦で民生委員を選定しているため、民生委員も高齢化する。システムの変更が必要である。
- **学童保育等、放課後施策の拡充を図ってほしい**
  - ・ マニフェストに「放課後児童クラブの数を 32 から 50 まで増やす」とあるが、そのスピードをもっと上げてほしいし、質の面でも向上させてほしい。
  - ・ 国では新たに、放課後子どもプランとして、学校の空き教室を活用した対策も講じているため、市でも複数の部署が連携し柔軟な対応を取ることで、使い勝手が向上する。
- **介護予防教室の取り組みをより積極的にすべき**
  - ・ 高齢者の介護予防ができていないと介護保険料に跳ね返り、結果として負担増となってしまう。
  - ・ 特に、介護申請する前の人や、予防教室などに出てこない人へのケアが重要である。
- **公共にも地域にも限度がある⇒公助・共助・自助の確立が重要**
  - ・ 何でも行政ではなく、地域でできることは地域でやった上で、やれないことを行政にお願いするという基本的な考え方について、住民が共通認識を持つべきである。

【テーマ④：自治基盤の整備】

- **地域のことを話し合える、井戸端会議的な場がほしい**
  - ・ 住民の意識が変わるための方策として、地域のことを気軽に話し合える場があれば、組織づくりに発展し、具体の事業に結びついていくのではないか。
- **公民館が立ち寄りやすい場となるよう、雑談スペースの設置などを**
  - ・ 地域を元気にする拠点として、公民館は有効。しかし用事が無いと行きづらい。
  - ・ 講座だけでなく、地域の人が集まりやすい雰囲気を作られるといい。
- **市民活動に目覚めつつある人のために、サポートセンターの改めでのアピールを**
  - ・ 市民活動サポートセンターは、市民活動の重要な拠点である。

- ・ 市民活動に目覚めつつも、何をしたいかわからずにいる人たちのために、こういう拠点があるということを改めてアピールしていければいい。
- **協働は、行政側も市民側も腹を括って取り組む必要がある**
- ・ そうでないと、役割分担も曖昧な、かたちだけの協働になりかねない。

## <⑦~⑩意見交換会（4回開催分）>

### 1. 地域活力の創出

#### <1-1. 企業誘致推進・中小企業強化プロジェクト>

- ▼八戸高専や八工大の卒業生の地元就職率が低いと聞く。その理由として、市内で就職するための、背後にある地元企業立地が貧弱なことがある。企業誘致を推進するにしても、背後の企業・施設がなければ、参入しづらいのではないかと。
- ▼企業誘致の必要性が言われている。市でも積極的に取り組んでいるようだが、依然青森県内の失業率は高い。そうすると、これまでの取り組みは有効だったのかということになる。もっと具体的に、これまでの課題と今後の取り組みを整理すべきである。
- ▼北インターの地価が県内の他の工業団地と比べて高いと聞く。以前青森県は、地価の安さや労働力の安さが魅力だった。しかし最近では、都市部との差も少なくなり、逆に冬期間のランニングコストの高さがネックとなっている。八戸駅周辺にあった八戸酒造が千葉県松戸市に営業所を移転したのは、焼酎の販売先の8割が市外のためである。

#### <1-2. 攻めの農業プロジェクト>

- ▼例えば夕張メロンや上北ながいも、田子にんにくのように、具体的に品目を挙げて、農産物のブランド化を推進していくことを望む。
- ▼糠塚きゅうりは食べ方もおもしろい。近郊にもおもしろいネタがあるのではないかと。
- ▼何か一つでも良いので強力に進めてほしい。

#### <1-3. 攻めの水産業プロジェクト>

- ▼漁船の老朽化も深刻である。新たな船をリースできるのは余力のある会社だけであり、もっと皆ができるような取り組みを期待する。
- ▼「八戸前沖さば」のネーミングが非常に読みにくい。東京の広告代理店からも「わかりにくい」との指摘を受けた。戦略的に変えられないか。

#### <1-4. 八戸ツーリズムプロジェクト>

- ▼ジャズフェスティバルについて、是非ポスターを見るだけでも行きたくなるような取り組みが求められる。

#### <1-6. 雇用創出プロジェクト>

- ▼若い人の仕事がないことをどうするのか。企業誘致もいいが、市内でもっと掘り起こせば何かあるのではないかと考えている。朝ぶろの取り組みは評判が良く、リピーターもある。このように、地域を活性化する資源の掘り起こしに力を入れるべきだし、市民の頑張っている姿や分野を集めてPRすることも考えられる。
- ▼計画に、もっと具体的な取組みを掲載すべきと思う。
- ▼いかに就職させるかということ、学校やハローワーク、労働組合、事業所など、現場の声を日常的に聞きながら、市として何ができるか考えるべき。
- ▼宮古市では、市の斡旋で住宅リフォームを推奨し、結果的に建設関連業者が潤っている。八戸市でも耐震診断等やっているが、一般住宅も含めもっと進めるべきである。

## 2. まちの魅力創造

### <2-1 中心市街地再生プロジェクト>

- ▼中心街にはちができて、向かいの空きビルが目立つ。もっと商店街の声を聞くことが必要だと思う。例えばはちの向かいをバスターミナルとして整備するなど、いろいろなアイデアを持っているはず。
- ▼中心街には店が並ぶべきだが、空き店舗補助の要件が厳しく、小企業や起業家が参入していけない。みろく横丁をモデルに、誰でも参入しやすい仕組みを検討すべきである。
- ▼役所の点字ブロックは黄色になったが、中心街のブロックはピンクなど様々。視力の弱い人にとっては黄色が最も見やすい色であるため、中心街でも統一すべき。
- ▼中心街に人を呼び込む努力をしないといけない。市は、中心街の空洞化の原因をどう捉えているのか。空き店舗など社会資本の有効活用が先決だった。人口動態を把握していない限り、はちができて中心街は活性化しない。タウンマネージャーの小林氏も「街の中に魅力あるものがない」、「街の賑わいや価値に着目する社会的視点がない」と言っていた。人口動態をよく調べた上で、間違いのない責任ある計画を策定してほしい。
- ▼本計画では、イベントの開催で賑わい再生を図るようだが、一過性のものであって商店の利益にならない。七夕や三社大祭も客はそれが目当てで訪れるだけで、経済効果がない。市では単に中心街に人が出ればよいと考えているのか。中心街の何を活性化するか明確にしてほしい。街なかの人出が増えるということだけに税金が使われるのは適当ではない。

### <2-2 文化・スポーツプロジェクト>

- ▼市民練習場は、根城小が使えなくなることもあるため、早期検討が必要だと思う。
- ▼小学校にプールを建設できないのも問題である。その一方で、計画にはスポーツ振興とあるのは矛盾している。ここ 20 年間学校のプールを作っていないとのことだが、白山台小でもマイクロバスを借りてプールに行くなど大変である。
- ▼アート分野に対しては市から助成することになると思うのだが、既存の団体への配慮も必要ではないか。総合的に調査し、フォローしてほしい。
- ▼「アートのまちづくり」も今まで活動している人たちの活性化に繋がらないといけない。

### <2-3 環境創造プロジェクト>

- ▼生ごみリサイクル事業の具体的な状況が気になる。生ごみリサイクルと資源ごみの回収率を上げていければよいと思うが。
- ▼現在行っている生ごみに関する取り組みは、各家庭の取り組みが中心で、段ボールコンポストなども継続的な取り組みにはなっていない。積極的な自治体では、行政が処分のための場をつくるなどしているが、八戸はどこかの店や地域限定の取り組みでしかなく、部分的支援にとどまっている。生ごみを土に返し、そこで農家が作物を作るというようにサイクルをつくることで効果が上がるとわれ、そうした取り組みが住民の意識向上に繋がる。
- ▼防犯灯設置は町内会に任せているが、場所によって防犯灯が不足し、暗い所がある。市側でも自ら調査し、自ら設置することも必要と思う。
- ▼防犯灯の設置がなぜ環境分野なのか。環境への配慮を全面に出したためというが、暮ら

しの安心プロジェクトの方が適当ではないのか。

### 3. 地域の安心確立

#### <3-1 次世代育成プロジェクト>

- ▼待機児童は深刻な問題だと思う。町内に認可外保育園があり、定員は 20 人だが満杯である。月 1 回の休み以外、24 時間フルに利用されていることから、現状はもっと深刻なのではないか。働きたくても預ける場所がない、働くところがないなど、問題は様々。市として、少子化対策含め、現状を正確に把握した上で、幼稚園や保育園を増やすなど検討すべき。また、小学校でも、放課後の利用をしやすいような改修を行っていくべきである。
- ▼計画を見ると、「やります」ということがたくさんあるが、「やめます」という作業をもっとするべきではないか。無駄だと思うことも山ほどあるが、市長への手紙を出しても、担当者次第では適当な返事しか返ってこない。やめるための委員会なども作って議論してほしいし、その上で子育ての分野などに集中的に投資してほしいと思う。
- ▼「次世代」の前に「現在」の子どもたちへの対策を急いでほしい。学童保育の利用料について、市のホームページではほとんどがおやつ代として月 3,000 円程度と謳っているが、それは誤りである。一日のおやつは 100 円になるはずだが、実際は 20 円程度。飲み物も良い所では麦茶だが、水の所もある。運営費を賄えていないというのが実態であるので、ホームページの訂正のほか改善も行ってほしい。学童保育は自治体の努力目標なので、財政難を理由に後回しにされがちだが、子育てが後回しにされるような市政では「次世代育成」に危機感を覚える。
- ▼また、ファミリーサポートセンターについて学童保育後の預かりの依頼が非常に多い。学童保育はほとんどが 18 時までだが、19 時までで延長してほしい。1 時間 500 円の預かりでも 1 月で 1 万円になる。学童保育が 18 時までということで利用を諦め、仕方なく自宅にいる「待機児童」も数多くいる。学童保育は努力目標であり、また、公設民営であるので、延長をお願いせずにいると思うが、厚生労働省からは 2 年前に指導できるとの文書が出ているはず。
- ▼児童館については利用料が無料ということもあり、学童保育やファミリーサポートを利用している親より可処分所得が多く、不公平である。包括的な見直しをお願いしたい。
- ▼子育て支援に関する取り組みはあるが、子どもを増やすための取り組みはないのか。大学を卒業しても就職先がない中、子どもをつくれるかということもある。
- ▼子どもの世話をするボランティアを養成する講座があり、そのためには講習を受ける必要があるが、ボランティアなのだから、テキスト代も無料でいいのではないか。

#### <3-2 高齢者・障がい者自立プロジェクト>

- ▼社会参加の促進に関連して、段差だけでなく、路面凍結によっても障がい者の外出機会が失われてしまう。もっと具体的な取り組みが必要である。

#### <3-3 暮らしの安心プロジェクト>

- ▼また、地域の安全づくりが進んでいるが、市からの直接的な交付金があってもいいのではないか。

- ▼自殺対策について本計画に掲載されていないが、どのような議論が行われたのか。自殺の原因が多岐に渡るのでワンストップ窓口はよい考えだと思うが、その前に自殺を止めることが必要。初期介入（「ゲートキーパー」）の後、ワンストップ窓口につながるシステムがよいが、当市にはそれがない。今の計画では自殺対策の扱いが低く、危惧している。
- ▼ドクターヘリの2機目の導入を目指す寄付の活動について、広報などでもっと宣伝すべき。また、市としても県にも強い思いを伝えるべきだし、いろいろな方法が考えられる。

#### 4. 自治基盤の整備

##### <4-1 協働のまちづくりプロジェクト>

- ▼市として、県内主要都市の町内会加入率や費用を捉えているのか。また、アパートに住む転勤族がいる中で、三社大祭への参加を促すなど、加入促進のための様々な方法が考えられると思う。連合町内会をつくっただけでは、何も変わらないのではないかな。
- ▼町内会に関連して、民生児童委員は509人いるが、高齢化が進んでいるうえ、多岐に渡る守備範囲で疲弊している。別々の守備範囲にしてはどうか。また、町内会自体が高齢化していることも問題。若い人が加入しても年配者が幅を利かせているような事例があるのではないかな。ただ加入を増やすだけではなく、若い世代にシフトするような施策を講じてほしい。
- ▼南郷の場合、町内会加入率が高いため問題ではないと思うが、町内会がどれくらい機能しているか、将来的にどうなっていくのかという部分では、南郷区でも検討の余地があると思う。
- ▼ボランティア活動の支援体制を整備するとあるが、周囲が活動を認めてくれる、評価してくれるような空気づくりもできればよい。

#### その他意見

- ▼こどもの国は立派だが、近所の公園は老朽化した遊具を取り払うだけで更新してくれない。身近な公園ももっと大事にしてもいいのではないかな。
- ▼包括的な都市計画というものが決定的に欠けているように思える。一つは、人口、町々の密度について把握した上でやってきたのか、二つめは、市街化調整区域について、同心円状に市街地を拡大するはずだが、そのようになっているのか、疑問に思う。これまでの市の都市政策は、人口の伸びに比例して市街地が拡大するという基本を疎かにしている。市街化調整区域という規制は財産権に影響するものなので、平等性、公平性、一貫性が必要。